

# 西日本新聞

2015年06月28日 00時09分



名人のこま回しに興味津々の口永良部島や屋久島の子どもたち

鹿児島県・口永良部（くちのえらぶ）島（屋久島町）の噴火災害で屋久島に避難した子どもたちを励まそうと、全日本独楽（こま）回しの会（山形県米沢市）は27日、屋久島でこま回し教室を開いた。口永良部島や屋久島で使われる小3の国語の教科書にこまの名人として登場する副会長の谷伸行さん（47）ら3人が、こまの回し方や作り方、世界の珍しいこまを紹介し、口永良部島と屋久島の子ども約40人が楽しんだ。

訪問は「教科書に登場する名人と触れ合い、被災地の子どもに元気を出してもらおう」と企画。旅費の一部は、谷さんが住む埼玉県朝霞市などの商店街や高校生が寄付を募って賄った。

谷さんらは、回すと中から小さなこまが飛び出たり、回転しながら上下が逆転したりする珍しいこまを披露。その後、子どもが実際にこまを回したり、専用の道具を用いてこまを作ったりするのを指導した。

口永良部島から避難した小6の男児（12）はこま遊びは初めて。「面白かった。屋久島の生活は疲れることもあったけど、元気が出た」と顔をほころばせた。谷さんは「子どもの笑顔を見られて、来たかいがあった」と喜んでいた。

= 2015/06/28 付 西日本新聞朝刊 =